



◆ 特編授業 A 中盤戦…学習効果を上げるために

特編授業Aが3週目に入りました。ここまで2週間の手応えはどうでしょうか。そして、毎日が共通テストという日々慣れてきたのでしょうか。長い時間集中して問題に取り組む力というのは、力であると同時に習慣です。特編Aを通して、60～90分を普通に集中して解き切ることに慣れていきましょう。

一方で、特編授業も回数を重ねてくると、悪い意味での「慣れ」も生じてしまいがちです。皆さんは、本番同様の緊張感を持って演習に臨んでいるでしょうか。本番で失敗する一番の原因は「本番はいつもよりも〇〇しよう」という気持ちです。「いつもより気合を入れて」と思えば気負って頭が働かなくなるし、「いつもより丁寧に」と思えばいつものペース・時間配分では問題を解けなくなります。

とはいえ本番は「いつもよりいい自分」でいたいものです。だから特編授業では、その「いつも」を底上げするというイメージを持ちましょう。毎日の演習を本番同様の切迫感を持って解くようにしたいものです。そのためには授業時間だけではなく、授業開始までの時間も大切。入試本番でテスト開始直前までおしゃべりしている人はいないし、ぎりぎりに部屋に飛び込んでくる人もいません。だから日々の授業でも、例えば次のようなことを実践してみましょう。

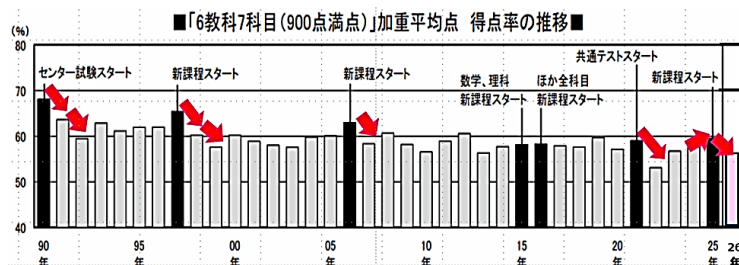
- 授業が始まる前、早めに席に着く。
- 開始直前には、静かにして集中力を高める。
- 試験会場に持っていく予定の参考書・ノートを使って、最後の確認をする。
- 文房具なども本番通りにする（腕時計を用意する、鉛筆を使う、替芯は置かない、など）。

特編Aを通して「いつも」の底上げをはかることで、共通テスト当日の朝も「いつも通りにやれば大丈夫」と思えるようにしていきましょう。

◆ 難化が予想される共通テストに「気持ち」の備えを

制度が大きく変更された年の入試は易しくなるけれども、翌年は難しくなる…というこれまでの傾向（右図）から、今年度の共通テストは「難化」が予想されています。

ただ一口に難化と言っても、上位・中位・下位層のどのレベルにとって難しかったのかによって、影響の出方は変わります。よくあるのが「上位層の得点に影響はなく、中・下位層の得点率が下降する」パターン。この場合、上位層（旧帝大レベル等）は予定通りの出願となる人が多くなるけれども、中位以下（ブロック大・地方国公立大等）では、このまま強気の出願でいいのか、それとも志望変更した方がいいかで悩む人が増えることになります。いずれにせよ皆さんには、あらかじめそういう事態を想定して、次のようなことを意識しておいてほしいと思います。



https://toshin3759.com/info_entrance_exam/2024kyotutest/ より引用

- ① 共通テスト当日…問題を解いていて「難しい」と思っても、「みんな難しいと思っているはず」と思って、落ち着いて最後まで取り組むこと。
- ② 自己採点では…結果が少しくらい振るわなかったとしてもおろおろせず、すぐに二次試験・私大受験に向けての勉強を始めること。
- ③ 出願検討にあたって…志望変更が必要になっても、できるだけあらかじめ決めておいたプランの範囲内で考えること。

ただし、③については「年内にしっかりとした出願プランができていること」が大前提です。そのことについて以下に述べます。

◆ 出願プラン作成にあたって考えてほしいこと

第一志望合格が絶対的な目標であるのは当然として、とはいえ国公立大の第二・第三志望、また多種多様な私大入試からどの日程・方式で受験するか…といったことについて、12月のうちに具体的に詰めておきましょう。

【出願プラン作成上のポイント】

〈国公立大〉

○ 共通テストの出来によって、前期・後期（公立中期）それぞれについて…

A 満足な点数が取れた場合

B 点数がやや伸び悩み、第一志望を貫くのに不安な場合

C 点数がかなり足りず、それでも何とか浪人を回避したい場合

…にどこに出願するかを検討する。

※ プランB・Cの検討にあたっては「地域を広げる」「学部・学科を広げる」ことを考える。

※ 前期・後期・中期すべて出願期間は1/26（月）～2/4（水）であることに注意。

〈私立大〉

○ 共通テスト利用…多科目型にするか、少科目型にするか。

○ 個別試験…全学部共通試験にするか、学部個別試験にするか。

※ 利便性が高いほど合格は難しい。学部個別日程→全学部日程→共テ利用と難易度は上がる。

※ 受験日・受験地なども含め、無理のない日程にすることも大切。

受験には勝負事の側面があり、出題の傾向やライバルのレベルによってうまくいくこともあれば、そうでもないこともあります。第一志望を大切に努力することとは別に、そういう現実を受け入れ、あらかじめ準備をすることは大切なことです。

卒業したある生徒の話ですが、現役の時はこちらがいろいろアドバイスをしても「ここしか行きたくないので、他は受けません」の一点張りでした。結局浪人したのですが、翌年、受験直前に「相談したい」とのことで、会って話を聞いてみると「共テがこれくらいならここを受験して、そうでなければ…」と、今度はかなり綿密な受験計画を立てていました。加えて「先生の中から見て何かアドバイスありますか」とのこと。本人は「もう後がありませんから」と、とても真剣な様子でした。

最初からそういう気持ちで臨めればよかったね…とあえて意地悪なことばを向けてみたら「現役の時は何も分かってなくて、自分勝手に何とかなるだろうと考えていました」という答えでした。ここまで成長できたのなら浪人も無駄ではなかった…とは思いましたが、そうは言ってもそうなる前に気付ければ、それに越したことはありません。

また1/18（日）に共通テストが終われば、（もちろん出願先の検討も大切ですが）残された短い時間で国公立二次、私大個別入試に向けて全力で取り組む必要があります。そのためにも、できるだけ今のうちに考えるべきことは考えて、決めるべきことは決めておいた方がよいでしょう。

◆ 「共通テスト受験後に出願できる学校推薦型選抜」を検討している皆さんへ

「共通テスト受験後に出願できる学校推薦型選抜」の「推薦願」の提出については、原則として以下のようお願いします。

① 出願開始が1/19（月）以前の大学、及び1校から出願できる人数に制限がある大学…12/26（金）までにクラス担任に推薦願を提出してください。

② 出願開始が1/20（火）以降の大学…1/7（水）までにクラス担任に推薦願を提出してください。

※ なお、推薦条件等については、各大学の「入学者選抜要項」及び7月の懇談会でお渡しした本校の「推薦入学規定」によるものとします。

こうした日程を前提に、共通テスト受験後に出願できる学校推薦型選抜を希望する人は、保護者懇談会までに、クラス担任に相談するようにお願いします。

今後の予定 ちょっと先まで…

- 12/5（金）共通テスト「受験上の注意」公表…大学入試センターHP からダウンロード、できれば印刷し、熟読・確認しましょう。ここに記載してあることについて「知らなかった」は通用しません。「顔写真付きの身分証明書を必ず持参すること」など、これまでの共通テストにはなかった新しいルールも加わっています。
- 12/10（水）共通テスト受験票取得開始…出願サイトの「マイページ」にログインして、各自の責任において取得・印刷を行ってください（3 学年進路だよりに記事あり）。
- 12/12（金）全統共通テストプレ結果…模試ナビに結果がアップされます（紙資料の配布は 12/16 以降です）。また、Kei-Net の模試判定システム（右図）を使うと、共テ模試の点数と記述模試の偏差値を入力すれば、任意の大学の合格判定を手軽に確認することができます。共テプレの結果は共通テスト前に入手できる最新かつ最後の模試成績です。出願検討の材料にしてください。
- 12/19（金）～12/25（木）保護者懇談会…出願先、受験スケジュールを具体的に確認します。受験プランについて家庭内でしっかり検討・確認をしておいてください。またここから午前授業となり、それまでと授業のリズムが変わります。自習計画を具体的に立てた上で、この期間に臨みましょう。
- 12/26（金）午前授業・終業式…冬休みは実質 9 日間。そのうち 12/29（月）～1/3（土）は閉庁日で、土日とも自習室開放は予定されていません。校舎内に教材などの忘れ物がないようお願いします。
- 1/5（月）1/6（火）校内共通テスト模試（河合塾 K パック）…共通テストに向けて最後の「ランスルー（通し稽古）」です。
- 1/16（金）特編 A 最終日・共通テスト結団式…午前で特編 A が終わり、共通テストに向けて最後の確認事項、および先生方からの熱い激励を受け、いよいよ本番に向かいます。
- 1/17（土）1/18（日）大学入学共通テスト
- 1/19（月）共通テスト自己採点…なぜ自己採点とその提出（入力）が大切なのか。それは、合格可能性判定を以下のような手続きで行っているからです。
 - ① 受験者一人一人が共通テストの得点と志望大学を入力する。
 - ② ベネッセ・駿台／河合塾に、全国の受験生のデータが集められる。例年、受験者全体の 9 割のデータが集められている（この数が多いほど判定の精度は上がる）。
 - ③ ベネッセ・駿台／河合塾（の専門家）が合格可能性判定を行う。判定は集められた自己採点・志望校データに加え、これまでの模試の結果などを踏まえて行われるので、ボーダーラインの引き方も業者それぞれに違い、判定に食い違いがでることもしばしば。
 - ④ 1/21（水）生徒一人一人の合格可能性判定が見られるようになる。
- ※ 共通テストの実際の点数は翌年度 4 月にならなければ開示されません。出願の判断材料となるのはこの自己採点結果と、そこから導き出される合格可能性判定なのです。
- 1/24（土）1/25（日）出願に関する保護者面談。小論文模試。
- 1/26（月）～2/4（水）国公立大学出願。私大入試も始まります！



12月	
8月	
9火	P
10水	5分短縮
11木	探究合同発表会[1・2]
12金	
13土	○
14日	○
15月	
16火	
17水	
18木	A
19金	①②③
20土	○
21日	○
22月	①②③
23火	①②③
24水	A ①②③
25木	①②③
26金	④⑤⑥ 終業式 ☆
27土	○
28日	○
29月	○ 閉庁日
30火	○ 閉庁日
31水	○ 閉庁日
1月	
1木	○ 元日 閉庁日
2金	○ 閉庁日
3土	○ 閉庁日
4日	○
5月	○ 校内共通テスト模試
6火	○ 校内共通テスト模試
7水	▲ 始業式 実力テスト ☆

* の日は自習室開放あり。

【資料】「令和8年度大学入学共通テストに伴う受験者等への連絡事項について」より

● 試験場ごとに入場開始時刻等の注意事項をホームページに掲載します。(12月～1月)

下記 URL および二次元コード。

・ 試験場の間違いにご注意ください。

同じ学校でも異なる試験場に割り当てられている場合があります。

・ 朝の入場・入室時刻が試験場によって異なります。

試験場により受験者控室の規模や受験者の科目数が異なるため。

・ 自動車等での試験場構内への乗り入れ禁止（一部試験場を除く）

大学入学共通テスト受験案内を再度ご確認ください。（自家用車での不慮の事故や渋滞による遅刻等は、原則として追試験措置の対象にはなりません）試験場周辺道路は交通量が多く、他の車両の妨げとなるばかりでなく、冬季で路面が凍結することや、試験終了時は退場者も多いうえ、夜間となり受験者が事故に巻き込まれる可能性が大変高いことから、試験場付近での自家用車送迎による受験者の乗降車は全面禁止とします。また、近隣の商業施設等への迷惑駐車をしないでください。

「大学入学共通テスト」を受験する皆さんへ

試験場ごとに入場開始時刻等注意事項を、各大学ホームページに掲載

必ず事前に確認してください。

◆信州大学 以下6試験場

[北信] 教育学部試験場、工学部試験場

[東信] 繊維学部試験場

[中信] 松本試験場

[南信] 農学部試験場、飯田高校試験場



https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/

[北信]

◆長野保健医療大学試験場

<https://shitoku.ac.jp/>



◆長野県立大学試験場

<https://www.u-nagano.ac.jp/>

